

道道倶多楽湖公園線(紅葉谷)の整備促進

(登別市・継続)

現状と課題

本路線は、日本有数の温泉地である「登別温泉」への主要なアクセス道路であるとともに登別温泉地区の住民にとっては日常生活上、また、防災上重要な幹線道路であります。歩道が設置されておらず、車道幅員も狭く(6m)、急カーブ(最小半径50m)が連続し、さらに急勾配(7%)となっております。

平面線形の改善、車道の拡幅、勾配の緩和、歩道の設置についての整備促進が図られるよう要望します。

要望内容

紅葉大橋交差点から登別厚生年金病院までの区間の整備促進

L=1,670m

- ・平面線形の改善
- ・車道の拡幅
- ・勾配の緩和
- ・歩道の設置



最徐行により交差する観光バス



事業効果

観光客及び地域住民の安全確保
道路拡幅による渋滞緩和

交通事故の減少
安全な歩行空間の確保